

静岡県月例経済報告

(平成27年7月号)

……平成27年5月を中心とした県内経済のすがた……

No. 471

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	12
・ 雇用面	15
・ その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成27年5月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

平成27年5月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱めの動きもみられる。

先行きについては、堅調な設備投資などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、輸出での弱めの動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

需 要 面

◎個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。

大型小売店販売額(5月)は、百貨店、スーパーがいずれも2か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(5月)は、乗用車が10か月ぶりに前年実績を上回ったものの、軽自動車が5か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも14か月連続で前年実績を下回った。

◎住宅建設は、前年を上回った。

新設住宅着工戸数(5月)は、持家が2か月連続で前年実績を下回ったものの、貸家が8か月ぶり、分譲住宅が3か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも14か月ぶりに前年実績を上回った。

◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(5月)は、5か月連続で前年実績を下回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成27年7月1日)の27年度設備投資計画は、製造業、非製造業ともに増加する計画となっており、全産業でも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(5月)は、6か月連続で前年実績を下回った。

◎輸出は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

輸入は、前年を下回った。

輸出総額(5月)は、二輪自動車類が11か月連続、科学光学機器が3か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機が2か月連続、エアコンが7か月連続、自動車が2か月ぶり、自動車の部分品が4か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額(5月)は、原動機やパルプが前年実績を下回ったことから、全体でも6か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、670億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、持ち直しの動きがみられる。

鉱工業生産指数(4月)は、食料品・たばこ工業や輸送機械工業などで前年水準を下回ったことから、総合でも10か月連続で前年水準を下回った。また、2か月ぶりに前月を上回った。

また、産業用大口電力消費量(5月)は、10か月連続で前年実績を下回った。

なお、鉱工業在庫指数(4月)は、総合では2か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(5月)は1.15倍で、前月を0.02ポイント上回り、16か月連続で1倍を上回った。また、5か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員(5月)は、22か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(4月)は、2か月連続で前年水準を下回った。

その他

◎物価は、前年を上回った。

消費者物価指数(6月)は、総合で103.8となり、前年水準を上回った。

また、前月比は0.2%下落した。

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高(5月)は、前年同月比2.6%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(5月)は、前年同月比22.6%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った。

企業倒産(6月)は、件数は21件と前年実績を下回り、負債総額は前年同月比112.0%増と前年実績を上回った。

《 県の取組 》

【 「ふじのくに工場緑化セミナー」の開催 ～質の高い工場緑化を目指して～ 】

県は、町部における緑地面積率等の見直しを行う県条例を10月に施行するにあたり、条例に盛り込まれた理念「質の高い工場緑化」について理解を深めていただくため、「ふじのくに工場緑化セミナー」を開催しました。

- 1 日 時 平成27年7月24日（金）14時00分～16時30分
- 2 会 場 グランディエール ブケトーカイ 4階シンフォニー
（静岡市葵区紺屋町17-1（葵タワー内））
- 3 参加者 製造業、建設業、市町等 約120人
- 4 内容
（1）基調講演
講師：公益財団法人地球環境戦略研究機関 国際生態学センター
上席研究員 村上雄秀氏
内容：潜在自然植生の理論に基づく質の高い工場緑化

（2）事例発表

発表者	内容
トリンプ・インターナショナル・ジャパン株式会社（掛川市）	「森の中の工場」をコンセプトに地域住民とともに植樹した工場周囲の緑地は、18年経過した現在、自然林として大きく成長。 また、緑化等を通じた社会貢献にも積極的に取り組んでおり、国の緑化優良工場表彰（緑化センター会長賞）を受賞（平成25年）。
プライムアースEVエナジー株式会社（湖西市）	工場造成にあたり、森林の一部を残し、工場周囲に潜在自然植生により地域住民と協働で植樹したほか、工場敷地内にビオトープや地域住民が利用できるふれあい公園を整備。
静岡県企業局	静岡県企業局と小山町が連携し、開発を進めている「小山湯船原工業団地」は、「富士山を借景にした森に佇む工業団地」を設計方針として、景観・環境配慮型の工業団地を目指し、取り組んでいる。

（3）県からの情報提供

- ・ 条例制定の経緯など



II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

5 月 = 36,199百万円

*前年同月比： 4.0%増

(県内3百貨店、142スーパー合計)

<概況>

5月の大型小売店販売額は36,199百万円で、前年同月比4.0%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比5.0%増)、スーパー(同3.8%増)がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品(同6.2%増)、身の回り品(同2.0%増)、飲食料品(同3.5%増)、家庭用品(同5.7%増)がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月は2.7%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
販売額(百万円)	34,918	36,376	45,063	37,943	32,103	35,890	34,501	36,199
前年同月比(%)	▲0.8	▲0.9	▲1.0	▲0.6	▲0.7	▲13.9	6.3	4.0
うち百貨店(%)	▲3.7	▲1.9	▲1.3	▲2.5	▲3.7	▲24.4	16.1	5.0
スーパー(%)	▲0.1	▲0.6	▲0.9	▲0.1	0.0	▲10.5	4.2	3.8
(参考1)全国前年同月比(%)	0.0	1.2	0.1	0.0	1.3	▲13.0	8.6	5.3
うち百貨店(%)	0.2	1.5	0.6	▲0.4	3.5	▲17.7	13.7	6.3
スーパー(%)	▲0.1	1.0	▲0.2	0.3	0.2	▲10.1	6.3	4.8
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.0	▲0.2	▲0.6	▲0.8	▲1.4	▲13.6	5.6	2.7

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
衣料品	▲3.1	▲7.0	▲4.9	▲6.6	▲3.4	▲17.8	8.6	6.2
うち紳士服・洋品	0.6	▲7.1	▲5.1	▲7.5	▲1.3	▲12.8	6.4	7.3
婦人・子供服・洋品	▲4.8	▲6.4	▲5.4	▲6.3	▲3.4	▲18.5	9.2	5.0
身の回り品	▲7.9	▲3.3	▲4.1	▲3.5	▲11.6	▲24.0	8.7	2.0
飲食料品	0.9	1.5	0.1	1.9	1.0	▲4.3	4.4	3.5
家庭用品	▲8.2	▲9.6	▲8.1	▲8.4	▲9.3	▲27.9	11.5	5.7
うち家庭用電気機械器具	▲12.7	▲15.6	▲13.1	▲14.8	▲18.9	▲24.7	28.3	23.7

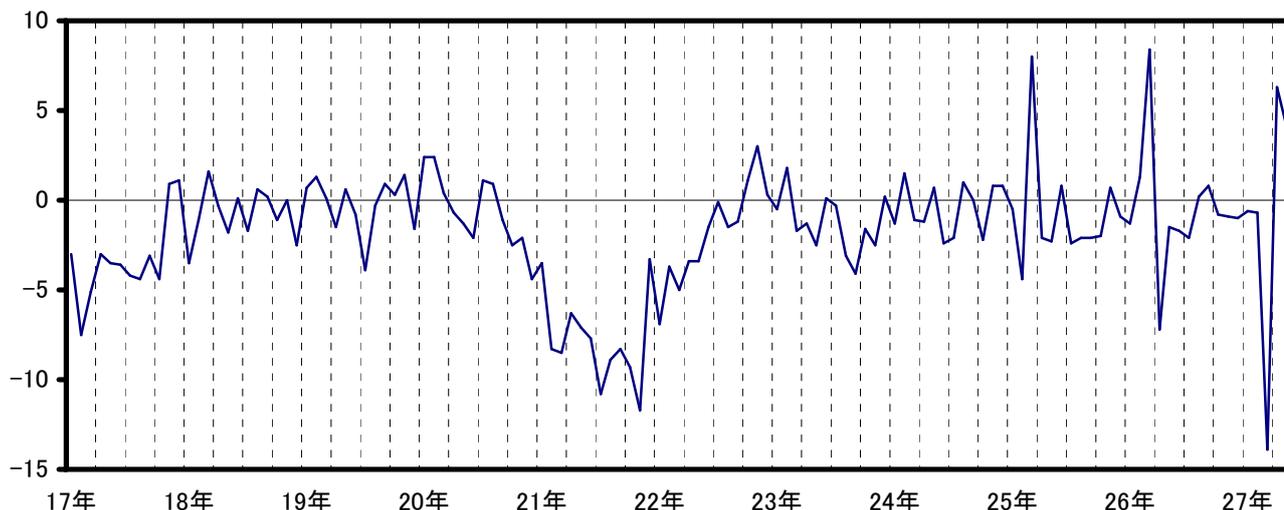
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

5月 = 6,097百万円

*前年同月比： 3.6%増

(県内3百貨店販売額)

<概況>

5月の県内3百貨店の販売額は6,097百万円で、2か月連続で前年実績を上回った。
品目別にみると、衣料品(前年同月比2.8%増)、身の回り品(同0.2%増)、家庭用品(同2.1%増)、食料品(同1.1%増)、雑貨(同15.2%増)がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
販売額(百万円)	5,986	6,921	9,275	7,119	5,500	7,011	5,876	6,097
前年同月比(%)	▲5.2	▲3.4	▲2.9	▲3.9	▲5.2	▲25.6	14.7	3.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.2	▲1.0	▲1.7	▲2.8	1.1	▲19.7	13.7	6.3

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

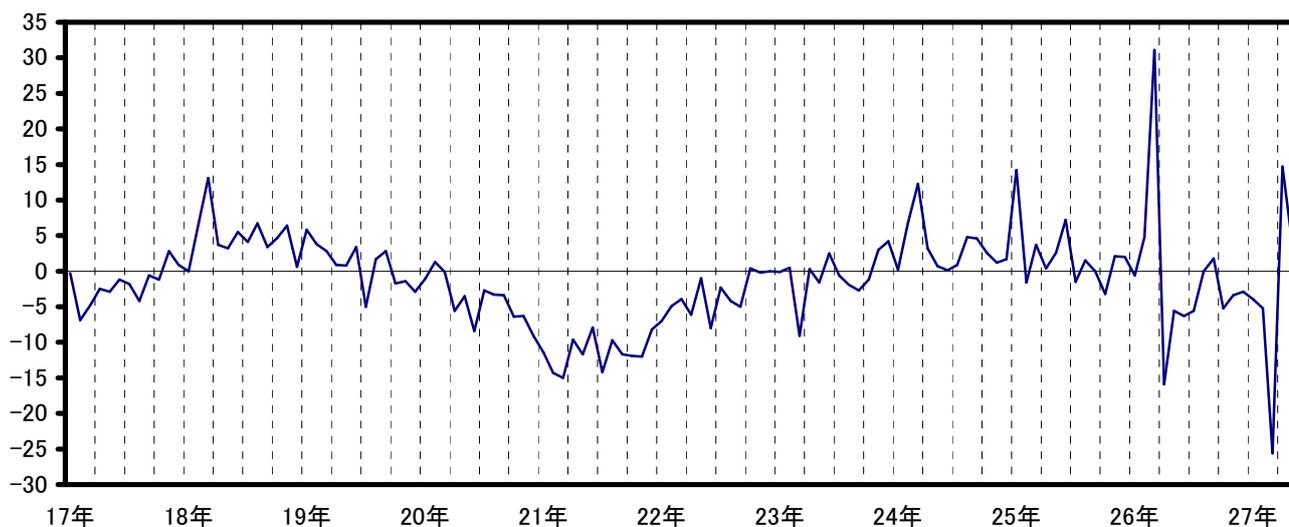
	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
衣料品	▲5.7	▲4.8	▲6.5	▲7.6	▲7.2	▲23.2	11.7	2.8
うち紳士服・洋品	▲0.7	▲2.0	▲3.7	▲6.4	▲1.6	▲14.5	9.4	4.4
婦人服・洋品	▲7.2	▲5.4	▲7.1	▲7.6	▲8.7	▲25.7	10.4	1.4
子供服・洋品	▲10.1	▲4.0	▲12.1	▲6.9	0.2	▲17.6	21.6	1.6
身の回り品	▲9.5	▲5.3	▲7.5	▲6.1	▲18.2	▲30.7	7.6	0.2
家庭用品	▲11.8	▲5.7	▲6.2	▲7.7	▲5.8	▲35.7	47.5	2.1
食料品	▲0.6	▲2.3	▲2.8	1.1	▲1.1	▲6.8	3.4	1.1
雑貨	▲6.0	1.1	9.6	4.5	▲1.8	▲44.1	47.9	15.2
うち美術・宝飾・貴金属	▲12.5	▲5.3	21.0	13.2	▲6.9	▲56.6	71.2	25.2

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比(%)

<資料>県百貨店協会



(3) 自動車(新車)新規登録台数

5月 = 11,424台

*前年同月比： 6.8%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

5月の自動車(新車)新規登録台数は11,424台(前年同月比 6.8%減)となり、14か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(同 2.3%増)が10か月ぶりに前年実績を上回ったものの、軽自動車(同 15.7%減)が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
登録台数(台)	13,228	14,149	14,156	14,885	18,188	24,066	10,372	11,424
前年同月比(%)	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 5.4	▲ 21.3	▲ 16.0	▲ 9.3	▲ 14.2	▲ 6.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 7.4	▲ 10.2	0.3	▲ 20.7	▲ 17.8	▲ 11.9	▲ 10.1	▲ 8.2

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

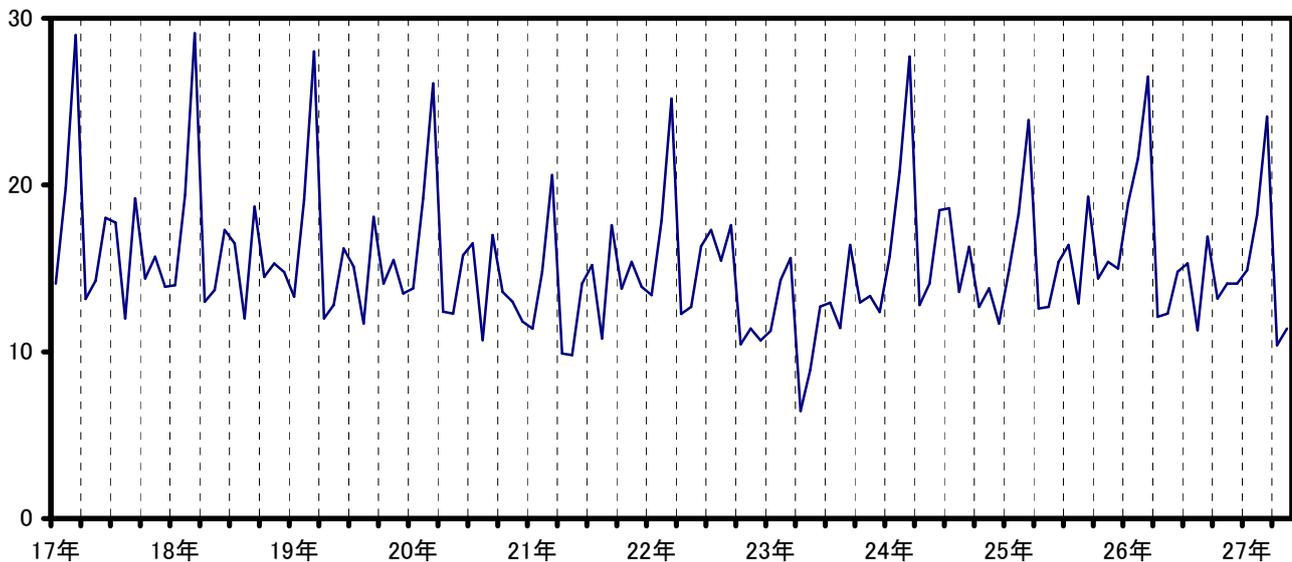
	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
全乗用車	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 5.4	▲ 21.3	▲ 16.0	▲ 9.3	▲ 14.2	▲ 6.8
乗用車	▲ 11.4	▲ 16.7	▲ 13.8	▲ 26.0	▲ 18.3	▲ 15.2	▲ 0.4	2.3
軽自動車	▲ 4.4	2.7	4.7	▲ 16.1	▲ 13.4	▲ 2.2	▲ 25.4	▲ 15.7

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

5 月 = 1,915戸

*前年同月比： 7.9%増

<概況>

5月の新設住宅着工戸数は1,915戸で、前年同月比 7.9%増となり、14か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 3.2%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、貸家（同 9.6%増）が8か月ぶり、分譲住宅（同 69.1%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

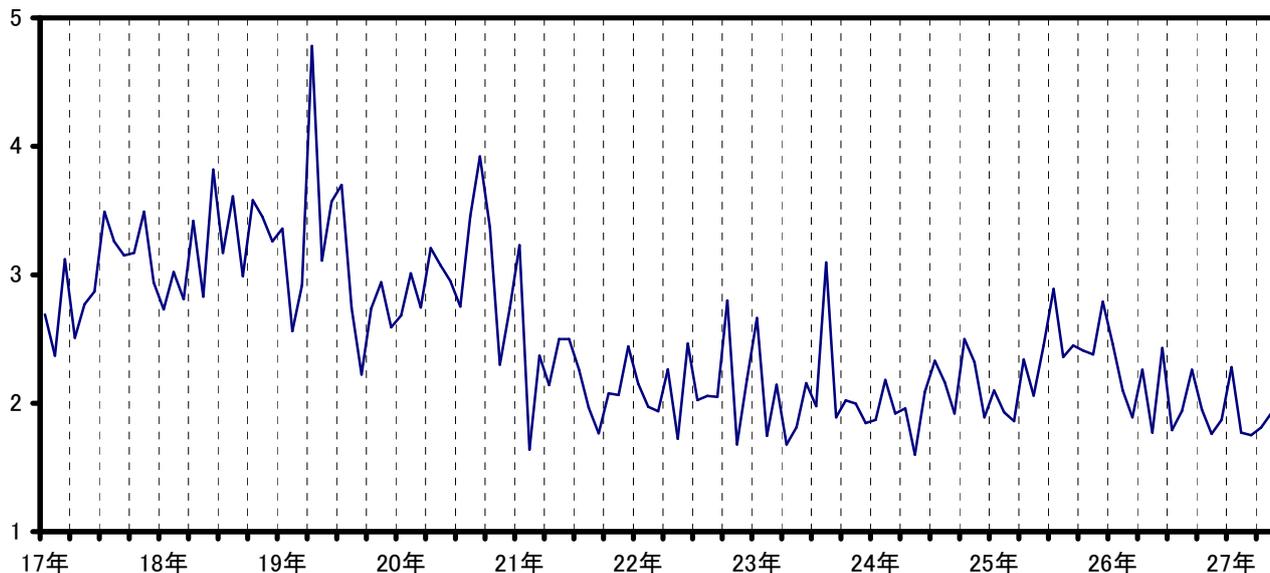
	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
戸数（戸）	1,953	1,756	1,871	2,278	1,771	1,751	1,805	1,915
前年同月比（%）	▲ 18.9	▲ 26.2	▲ 33.0	▲ 7.2	▲ 16.0	▲ 7.4	▲ 20.2	7.9
うち持家（%）	▲ 22.7	▲ 22.8	▲ 39.7	▲ 26.2	▲ 11.7	6.4	▲ 10.8	▲ 3.2
貸家（%）	▲ 22.8	▲ 24.3	▲ 24.0	▲ 22.7	▲ 40.6	▲ 20.4	▲ 17.4	9.6
分譲住宅（%）	15.0	▲ 38.7	▲ 26.4	161.9	96.0	▲ 20.7	▲ 48.5	69.1
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 12.3	▲ 14.3	▲ 14.7	▲ 13.0	▲ 3.1	0.7	0.4	5.8

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

5月 = 23,823百万円

*前年同月比：31.1%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

5月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は23,823百万円で、前年同月比31.1%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は363件で、前年同月比23.1%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
金額(百万円)	21,030	14,446	15,445	9,478	8,099	15,112	39,163	23,823
前年同月比(%)	▲22.1	▲15.2	1.5	▲0.9	▲25.0	▲9.9	▲1.1	▲31.1
年度累計前年同月比(%)	0.0	▲1.1	▲0.9	▲0.9	▲1.9	▲2.3	▲1.1	▲15.1
件数(件)	854	685	749	462	288	183	461	363
前年同月比(%)	▲13.3	▲19.1	▲7.9	▲12.0	25.8	▲16.8	10.0	▲23.1
年度累計前年同月比(%)	▲2.5	▲4.7	▲5.0	▲5.5	▲4.6	▲4.9	10.0	▲7.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

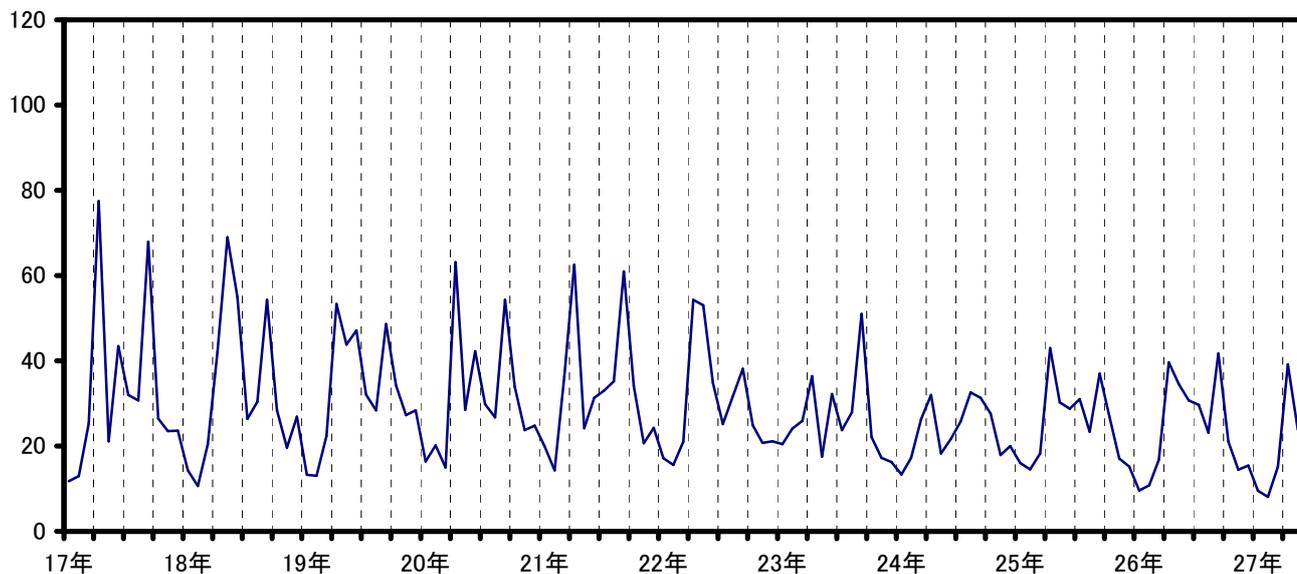
	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
国	▲24.2	206.1	343.1	▲2.4	▲57.4	▲2.9	▲23.5	▲47.6
独立行政法人等	▲92.2	▲4.4	▲78.4	1,452.9	65.6	▲62.8	37.9	▲1.5
県	▲24.3	▲31.0	▲18.1	▲36.3	3.1	9.4	▲15.7	▲57.2
市町	▲9.3	▲27.7	▲13.6	5.0	▲3.9	▲35.6	▲3.0	23.4
地方公社	67.1	—	▲25.5	▲44.2	—	—	—	—
その他	▲18.2	59.8	1,168.2	▲10.0	▲69.7	298.7	83.9	▲49.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成26年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 13.8%増）、非製造業（同 3.2%増）ともに増加となり、全産業（同 4.6%増）でも増加となった。

平成27年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 29.3%増）、非製造業（同 8.4%増）ともに増加する計画となっており、全産業（同 18.9%増）でも増加する計画となっている。

5月の着工建築物床面積（非居住用）は99,993㎡で、前年同月比 21.3%減となり、6か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>

（前年度比%）

		26年度 （実績）	27年度 （計画）	前回調査 比修正率	上期	前回調査 比修正率	下期 （計画）	前回調査 比修正率
全 産 業	県	4.6	18.9	5.7	26.0	4.5	13.2	6.8
	全 国	4.3	3.4	8.7	12.9	8.5	▲ 4.0	8.8
製 造 業	県	13.8	29.3	10.8	51.3	9.3	14.1	12.2
	全 国	6.8	12.3	10.6	23.7	9.0	3.3	12.1
非 製 造 業	県	3.2	8.4	0.1	4.3	▲ 0.9	12.3	1.0
	全 国	3.1	▲ 1.0	7.6	7.6	8.3	▲ 7.6	7.1

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成27年6月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（平成27年6月調査）」

<最近の動き>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	173,946	156,017	104,484	71,788	83,413	61,410	105,169	99,993
前年同月比（%）	126.4	101.5	▲ 23.4	▲ 63.8	▲ 8.3	▲ 69.0	▲ 24.6	▲ 21.3
（参考）全国前年同月比（%）	13.3	▲ 10.9	▲ 17.3	▲ 16.4	9.4	▲ 18.9	2.2	4.1

（注）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		27年3月	27年6月	27年9月 （予測）
全 産 業		1	3	3
	製 造 業	4	3	5
	非 製 造 業	▲ 2	3	3
（参考） 全 国 ・ 全 産 業		7	7	7

（注）業況判断D. I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成27年6月調査）」

5 輸出

5 月 = 146,514百万円

*前年同月比： 8.7%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

5月の清水税関支署管内の輸出総額は146,514百万円で、前年同月比 8.7%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、二輪自動車類（前年同月比 6.0%増）が11か月連続、科学光学機器（同 43.3%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 8.3%減）が2か月連続、エアコン（同 33.4%減）が7か月連続、自動車（同 15.9%減）が2か月ぶり、自動車の部分品（同 7.5%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（同 2.1%減）が3か月ぶり、米国向け（同 5.8%減）が4か月連続、EU向け（同 11.5%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
輸出総額(百万円)	175,585	162,486	190,421	166,118	163,172	182,364	172,324	146,514
前年同月比(%)	5.3	▲ 0.6	7.7	11.1	▲ 3.6	0.6	▲ 4.5	▲ 8.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
原 動 機	5.4	19.3	13.8	9.8	▲ 6.9	7.0	▲ 0.1	▲ 8.3
エ ア コ ン	39.3	▲ 14.9	▲ 19.7	▲ 3.5	▲ 19.0	▲ 22.2	▲ 23.1	▲ 33.4
自 動 車	29.0	26.9	11.5	9.1	▲ 13.2	▲ 0.6	9.1	▲ 15.9
自 動 車 の 部 分 品	7.3	▲ 13.5	▲ 0.8	2.7	▲ 4.3	▲ 0.3	▲ 15.3	▲ 7.5
二 輪 自 動 車 類	11.3	26.9	10.8	14.1	5.3	9.4	2.3	6.0
科 学 光 学 機 器	3.6	4.1	19.5	37.7	▲ 9.4	11.0	32.3	43.3

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
ア ジ ア	0.9	▲ 4.3	4.6	16.6	▲ 4.3	1.6	1.5	▲ 2.1
米 国	21.7	5.7	32.9	3.0	▲ 0.8	▲ 8.8	▲ 4.8	▲ 5.8
E U	▲ 13.5	▲ 6.9	▲ 17.6	12.4	▲ 6.2	7.6	▲ 16.2	▲ 11.5

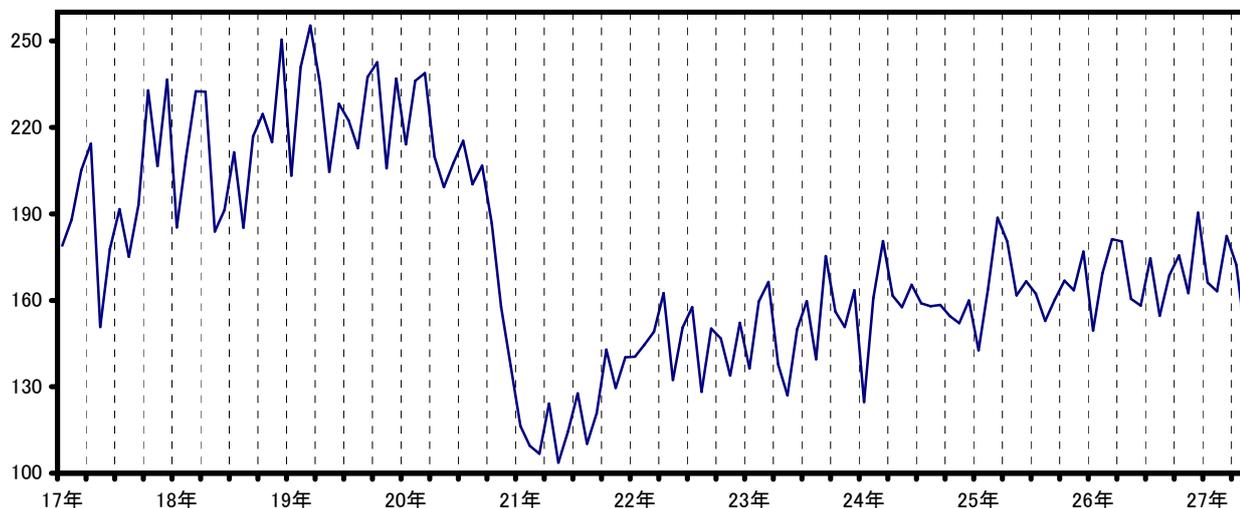
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

5月 = 79,565百万円

*前年同月比： 2.4%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

5月の清水税関支署管内の輸入総額は79,565百万円で、前年同月比 2.4%減となり、6か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類（前年同月比 17.8%増）が3か月連続、自動車の部分品（同 14.8%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、木材（同 12.8%減）が2か月ぶり、パルプ（同 21.1%減）が2か月連続、紙類及び同製品（同 11.8%減）が3か月連続、原動機（同 67.0%減）が14か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、EUから（同 18.7%増）が19か月連続で前年実績を上回ったものの、アジアから（同 5.7%減）が2か月ぶり、米国から（同 1.4%減）が4か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
輸入総額(百万円)	88,309	75,455	95,992	97,413	85,895	87,219	89,796	79,565
前年同月比(%)	7.5	▲ 1.5	20.1	14.4	9.0	0.9	1.2	▲ 2.4

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
魚 介 類	4.6	2.9	9.3	31.3	▲ 11.1	3.6	28.4	17.8
木 材	23.2	▲ 13.2	▲ 2.3	▲ 5.4	11.5	▲ 20.4	3.1	▲ 12.8
パ ル プ	9.9	▲ 1.6	▲ 2.9	10.7	17.7	2.8	▲ 4.4	▲ 21.1
紙 類 及 び 同 製 品	15.6	▲ 11.0	▲ 21.0	▲ 17.6	14.2	▲ 18.6	▲ 10.1	▲ 11.8
原 動 機	▲ 67.7	▲ 67.2	▲ 48.4	▲ 54.4	▲ 37.9	▲ 59.6	▲ 47.3	▲ 67.0
自 動 車 の 部 分 品	▲ 12.1	▲ 18.4	▲ 3.1	▲ 10.9	19.0	23.5	83.3	14.8

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

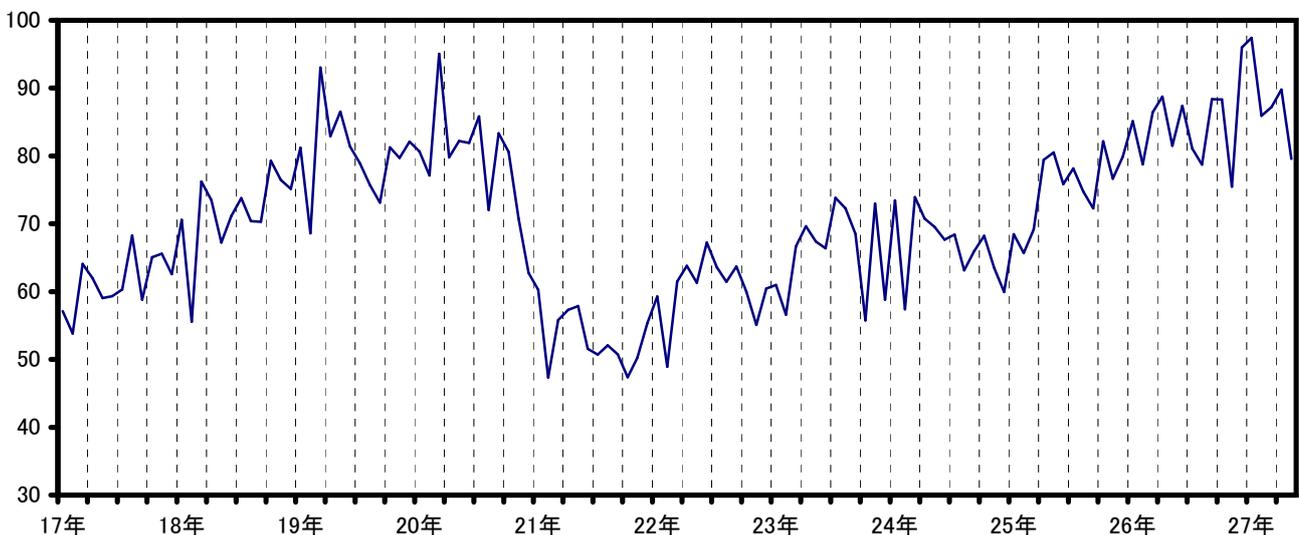
	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
ア ジ ア	▲ 2.8	▲ 0.4	16.3	▲ 0.2	23.5	▲ 18.7	3.2	▲ 5.7
米 国	▲ 6.4	▲ 30.7	31.2	▲ 17.1	11.1	6.8	11.4	▲ 1.4
E U	41.3	12.9	2.0	60.8	10.0	22.9	6.9	18.7

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 産業用大口電力消費量

5月 = 931,767千kWh

*前年同月比 5.7%減

(東京電力、中部電力合計)

<概況>

5月の産業用大口電力消費量は931,767千kWhで、前年同月比 5.7%減となり、10か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、食品（前年同月比 0.3%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、一般機械（同 3.0%減）が10か月連続、電気機械（同 2.6%減）が2か月ぶり、輸送機械（同 7.8%減）が5か月連続、化学（同 12.2%減）が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品（同 10.1%減）が7か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
消費量(千kWh)	1,039,590	984,002	967,630	939,323	929,943	1,009,368	960,359	931,767
前年同月比(%)	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 3.4	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 5.7
全国10社前年同月比(%)	▲ 2.3	▲ 1.2	▲ 0.6	▲ 1.8	▲ 2.6	▲ 2.3	▲ 2.0	▲ 3.3

*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力、電気事業連合会

<県内産業別大口電力消費量前年同月比の推移>

(単位：%)

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
一般機械工業	▲ 4.3	▲ 6.4	▲ 3.3	▲ 3.7	▲ 4.3	▲ 3.7	▲ 4.7	▲ 3.0
電気機械工業	▲ 1.0	▲ 0.7	1.0	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 1.1	3.1	▲ 2.6
輸送機械工業	▲ 4.9	▲ 4.7	0.0	▲ 2.5	▲ 1.9	▲ 0.1	▲ 1.9	▲ 7.8
化学工業	1.5	▲ 0.6	▲ 1.2	▲ 0.7	▲ 0.7	5.1	▲ 2.8	▲ 12.2
パルプ・紙・紙加工品工業	2.2	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 14.4	▲ 12.9	▲ 9.6	▲ 8.6	▲ 10.1
食品工業	▲ 4.7	▲ 1.3	0.4	0.3	▲ 2.5	▲ 1.8	0.7	0.3

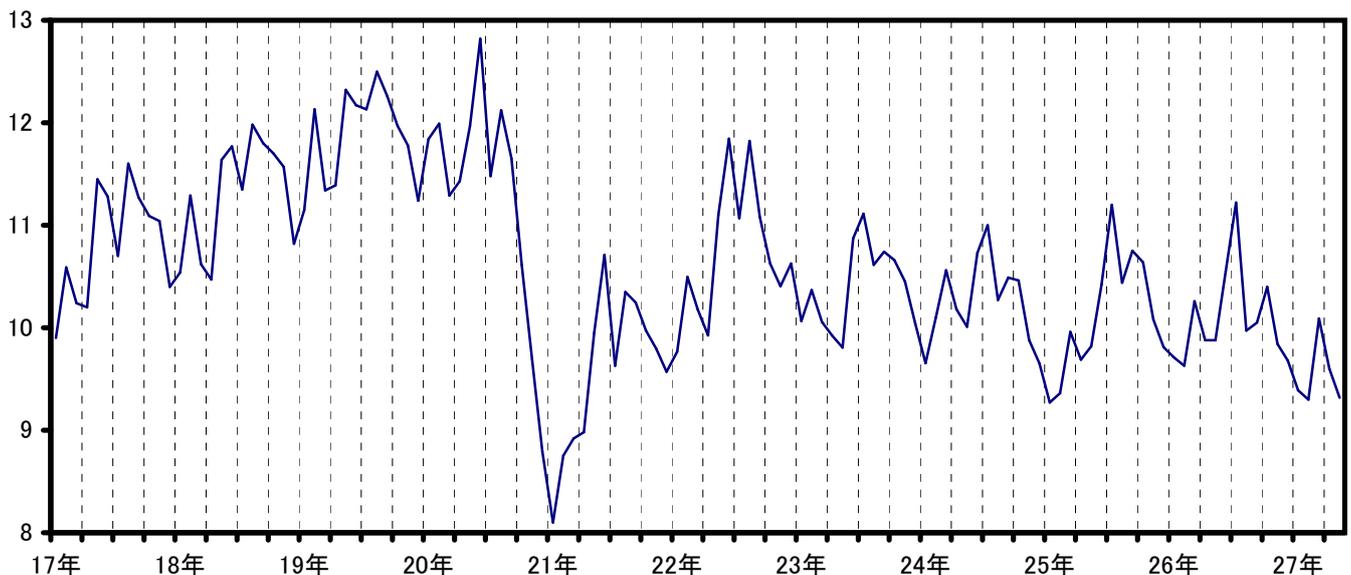
*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力

<過去10年間の推移>

産業用大口電力消費量(億kWh)

<資料>東京電力、中部電力



(2) 鋳工業生産指数

4 月 = 99.1

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.8%増

*前年同月比(原指数) : 2.4%減

<概況>

4月の鋳工業生産指数(総合)は99.1(季節調整済指数)で、前月比0.8%増となり、2か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は2.4%減と10か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比7.9%増)が5か月連続、電気機械(同2.3%増)が7か月ぶりに前年水準を上回ったものの、輸送機械(同4.6%減)が2か月連続、化学(同2.1%減)が3か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同3.4%減)が9か月連続、食料品・たばこ(同7.9%減)が11か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月
指数	91.4	93.2	90.5	93.2	97.4	98.3	98.3	99.1
前月比(%)	1.0	2.0	▲2.9	3.0	4.5	0.9	0.0	0.8
前年同月比(%)	▲0.4	▲4.5	▲6.8	▲2.8	▲7.6	▲1.9	▲2.0	▲2.4
(参考)全国前年同月比(%)	0.6	▲1.0	▲3.8	0.3	▲2.6	▲2.6	▲1.2	▲0.1

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月
はん用・生産用・業務用機械工業	36.6	13.5	▲7.3	10.9	2.5	16.8	2.1	7.9
電気機械工業	1.3	▲0.4	▲9.7	▲3.7	▲10.4	▲16.7	▲10.8	2.3
輸送機械工業	▲6.0	▲4.3	▲7.7	▲4.0	▲9.0	0.7	▲2.5	▲4.6
化学工業	▲5.8	▲19.6	▲1.3	8.4	▲10.7	2.8	5.9	▲2.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.2	▲2.4	▲2.7	▲4.9	▲6.0	▲3.7	▲2.0	▲3.4
食料品・たばこ工業	▲8.8	▲7.7	▲9.5	▲13.1	▲8.7	▲7.9	▲5.4	▲7.9

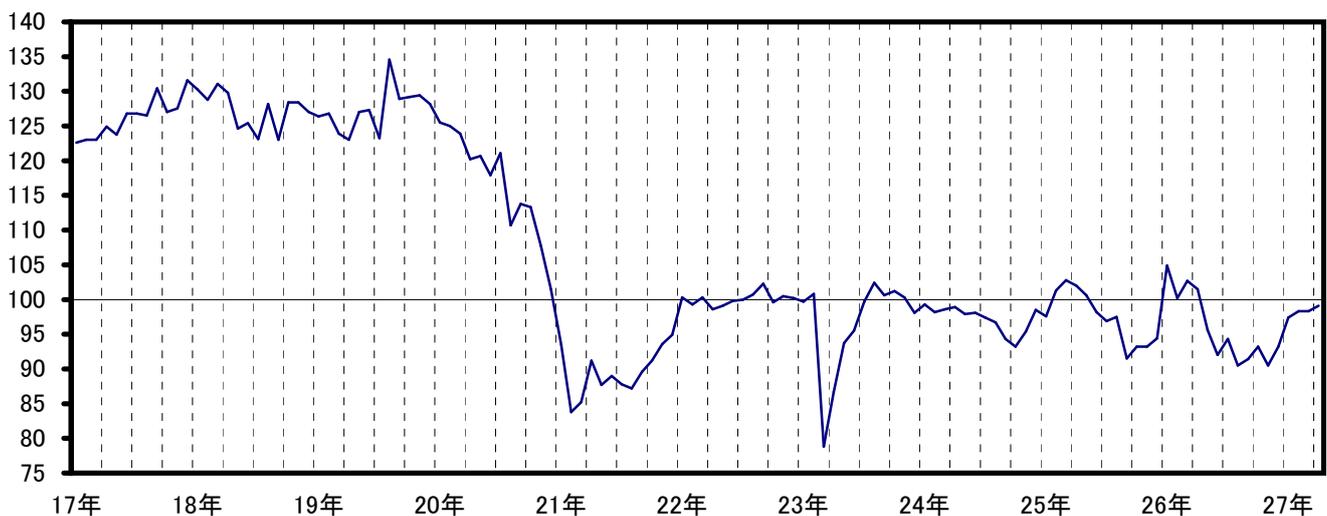
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(3) 鉱工業在庫指数

4 月 = 110.2

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 0.1%増

* 前年同月比(原指数) : 7.8%増

<概況>

4月の鉱工業在庫指数(総合)は110.2(季節調整済指数)で、前月比は0.1%増と3か月連続で前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は7.8%増と2か月連続で前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比13.2%減)が7か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同32.3%増)が16か月連続、輸送機械(同82.5%増)、パルプ・紙・紙加工品(同7.8%増)がいずれも3か月連続、化学(同4.2%増)、食料品・たばこ(同11.0%増)がいずれも2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月
指 数	106.6	103.7	102.9	101.3	100.4	102.4	110.1	110.2
前 月 比 (%)	▲ 3.2	▲ 2.7	▲ 0.8	▲ 1.6	▲ 0.9	2.0	7.5	0.1
前 年 同 月 比 (%)	1.3	1.0	0.9	▲ 1.0	▲ 6.6	▲ 1.2	3.7	7.8
(参考)全国前年同月比(%)	3.9	3.9	6.4	6.1	5.7	7.3	6.1	6.3

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月
はん用・生産用・業務用機械工業	2.1	▲ 1.9	▲ 2.6	▲ 1.6	▲ 12.5	▲ 13.2	▲ 12.2	▲ 13.2
電 気 機 械 工 業	33.5	35.5	29.6	34.6	21.2	22.5	28.2	32.3
輸 送 機 械 工 業	▲ 18.5	▲ 6.8	▲ 3.2	▲ 27.4	▲ 22.6	35.1	17.2	82.5
化 学 工 業	9.4	▲ 2.8	2.4	▲ 1.3	▲ 9.4	▲ 6.9	1.8	4.2
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 1.1	▲ 4.6	▲ 0.7	▲ 2.1	▲ 1.1	4.2	11.7	7.8
食料品・たばこ工業	9.0	8.7	2.4	▲ 2.6	▲ 8.4	▲ 1.4	4.8	11.0

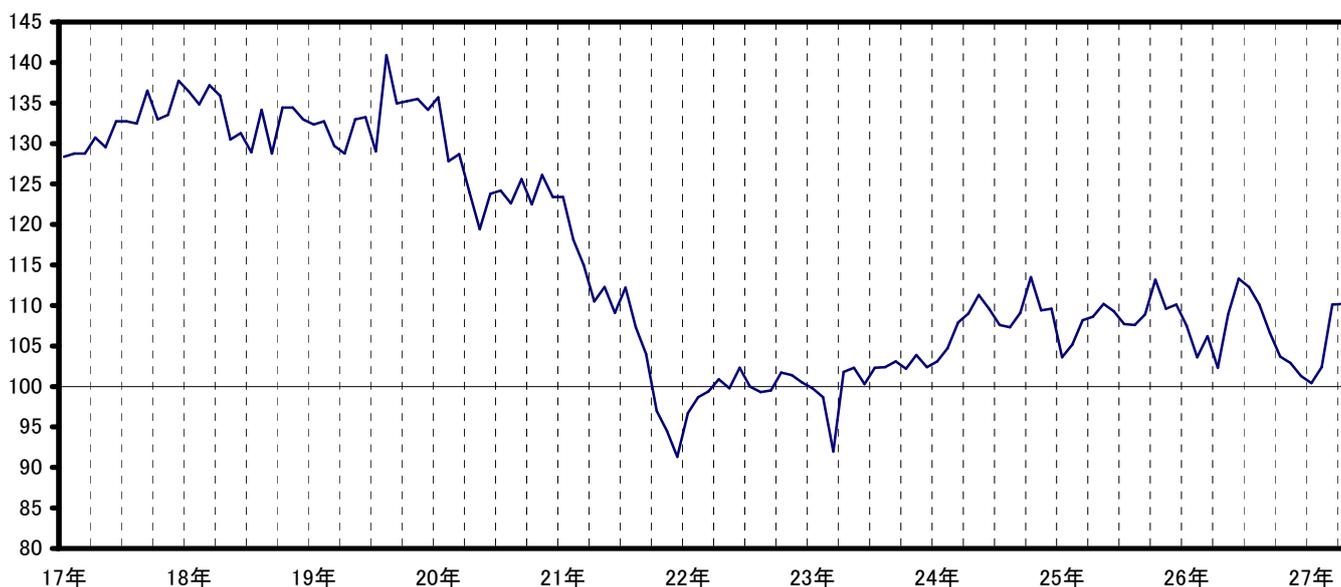
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

5 月 = 1.15倍

*前月比（季節調整値）：0.02ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

5月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.15倍となり、前月を0.02ポイント上回った。また、5か月連続で全国値を下回った。

新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比3.3%減）は2か月連続で前年実績を下回った。

これを産業別にみると、卸売業・小売業（同11.5%増）、医療・福祉（同9.9%増）で前年実績を上回ったものの、建設業（同5.2%減）、製造業（同6.5%減）、情報通信業（同9.4%減）、運輸業・郵便業（同17.4%減）、サービス業（他に分類されないもの）（同17.3%減）で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
県	1.11	1.12	1.14	1.13	1.13	1.12	1.13	1.15
全 国	1.10	1.12	1.14	1.14	1.15	1.15	1.17	1.19

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
建 設 業	3.1	3.5	▲ 2.7	0.9	1.4	11.1	▲ 4.4	▲ 5.2
製 造 業	8.2	12.1	11.4	▲ 1.5	9.3	1.7	▲ 0.3	▲ 6.5
情 報 通 信 業	27.2	19.1	87.2	32.2	29.3	▲ 4.4	34.2	▲ 9.4
運 輸 業 ・ 郵 便 業	8.1	▲ 8.2	9.3	▲ 1.1	▲ 7.6	17.8	0.3	▲ 17.4
卸 売 業 ・ 小 売 業	1.7	49.1	26.7	▲ 37.1	5.4	6.8	▲ 22.3	11.5
医 療 ・ 福 祉	24.0	13.5	24.6	13.5	2.0	6.1	▲ 8.4	9.9
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 1.1	▲ 3.5	8.2	34.1	12.5	19.1	▲ 9.9	▲ 17.3
合 計	11.5	7.5	13.6	4.7	0.6	6.5	▲ 5.2	▲ 3.3

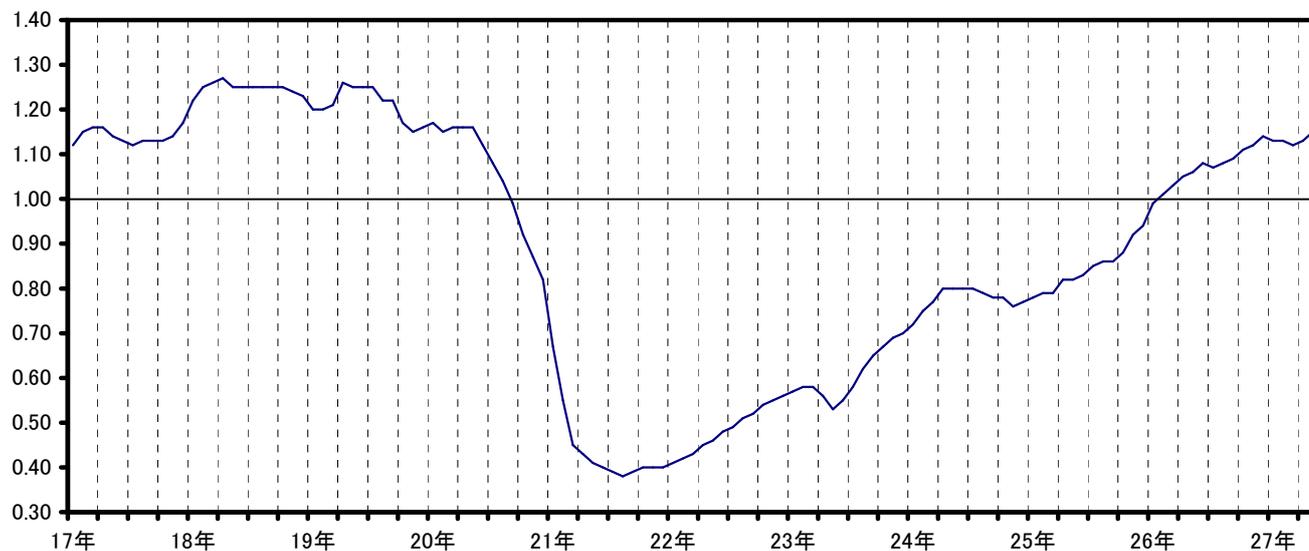
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

5月 = 13,771人

*前月比: 8.0%増

*前年同月比: 8.7%減

<概況>

5月の雇用保険受給者実人員は13,771人で、前月比は8.0%増と4か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は8.7%減と22か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は3.3%で、前月と同水準だった。

静岡県(平成27年1~3月)の完全失業率は2.5%で、前期(26年10~12月)と同水準だった。

<最近の動き>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
実人員(人)	15,653	14,160	13,847	13,925	13,190	12,934	12,750	13,771
前月比(%)	0.7	▲9.5	▲2.2	0.6	▲5.3	▲1.9	▲1.4	8.0
前年同月比(%)	▲6.9	▲8.2	▲6.7	▲7.0	▲5.3	▲2.7	▲6.4	▲8.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲10.4	▲11.2	▲8.2	▲9.5	▲7.5	▲5.3	▲6.5	▲12.6

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
完全失業率(全国)(%)	3.5	3.5	3.4	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3

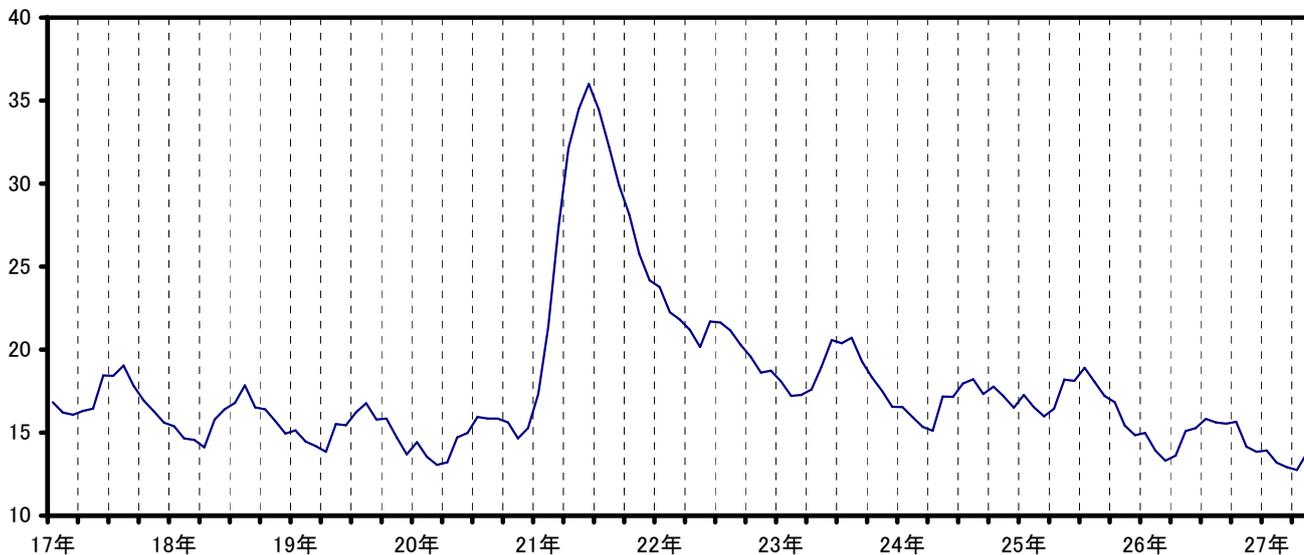
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

4 月 = 107.4

* 前月比(季節調整済指数) : 3.8%減

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) * 前年同月比(原指数) : 1.1%減

<概況>

4月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は107.4(季節調整済指数)で、前月比3.8%減となった。また、前年同月比(原指数)は1.1%減となり、2か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比 50.3%増)が4か月連続、情報通信業(同 46.6%増)が2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、製造業(同 2.4%減)が9か月ぶり、運輸業・郵便業(同 2.4%減)が29か月ぶり、卸売業・小売業(同 19.4%減)が3か月連続、医療・福祉(同 1.3%減)が2か月連続、その他サービス業(同 8.7%減)が37か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月
指数	107.9	107.3	107.4	110.7	111.9	113.3	111.6	107.4
前月比(%)	1.0	▲ 0.6	0.1	3.1	1.1	1.3	▲ 1.5	▲ 3.8
前年同月比(%)	6.2	2.9	▲ 0.7	2.9	3.7	3.4	▲ 1.7	▲ 1.1
(参考)全国前年同月比(%)	1.4	0.6	0.5	1.3	0.6	0.5	▲ 1.9	▲ 1.2

*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月
建設業	▲ 11.1	▲ 18.9	2.3	▲ 1.0	10.4	15.0	38.6	50.3
製造業	2.2	0.4	1.4	3.2	5.0	7.2	1.7	▲ 2.4
情報通信業	▲ 7.4	4.4	▲ 41.6	▲ 27.4	▲ 36.5	20.2	▲ 2.1	46.6
運輸業・郵便業	15.7	17.2	15.2	3.4	2.0	2.2	4.5	▲ 2.4
卸売業・小売業	8.6	5.6	1.4	▲ 3.7	8.0	▲ 1.6	▲ 20.1	▲ 19.4
医療・福祉	4.2	9.6	2.4	11.0	1.8	18.4	▲ 3.1	▲ 1.3
その他のサービス業	▲ 17.6	▲ 18.9	▲ 27.8	▲ 13.8	▲ 15.7	▲ 23.7	▲ 28.4	▲ 8.7
調査産業計	6.2	2.9	▲ 0.7	2.9	3.7	3.4	▲ 1.7	▲ 1.1

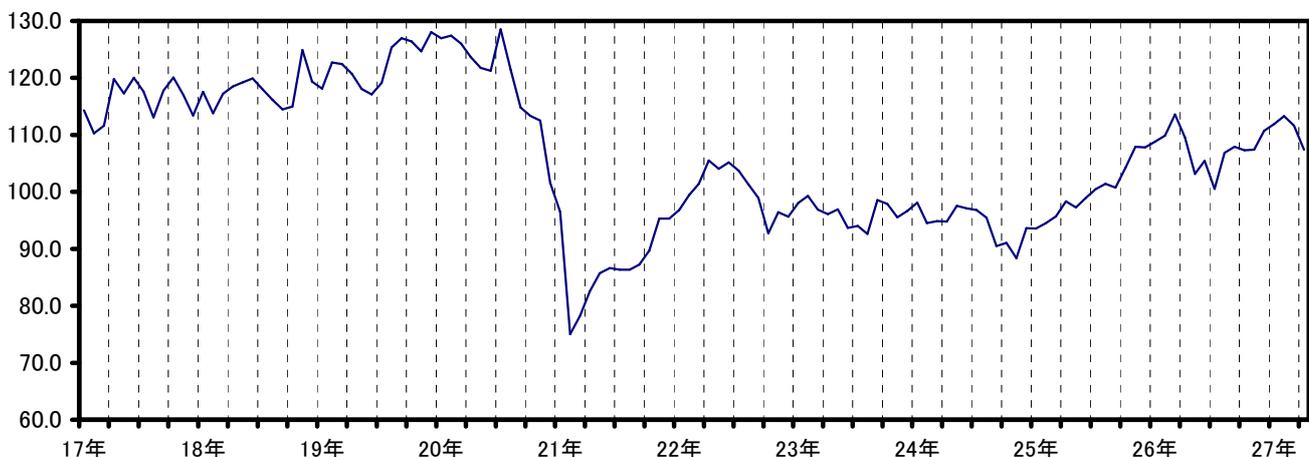
*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

(1) 国内企業物価指数

6 月 = 103.6

*前 月 比: 0.2%下落

*前年同月比: 2.4%下落

(平成22年=100)

<概 況>

6月の国内企業物価指数は103.6となり、前月比は0.2%の下落となった。また、前年同月比は2.4%の下落となった。

<最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
国内企業物価指数	105.2	104.7	103.3	103.2	103.5	103.6	103.8	103.6
前 月 比 (%)	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 1.3	▲ 0.1	0.3	0.1	0.2	▲ 0.2
前年同月比 (%)	2.6	1.8	0.3	0.4	0.7	▲ 2.1	▲ 2.2	▲ 2.4

*平成22年=100

<資料>日本銀行

(2) 消費者物価指数(総合)

6 月 = 103.8

*前 月 比: 0.2%下落

*前年同月比: 0.3%上昇

(平成22年=100)

<概 況>

6月の消費者物価指数(総合)は103.8となり、前月比は0.2%の下落となった。また、前年同月比は0.3%の上昇となった。

<最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
消費者物価指数	103.0	102.9	102.9	102.8	103.2	103.7	104.0	103.8
前 月 比 (%)	▲ 0.5	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	0.4	0.5	0.3	▲ 0.2
前年同月比 (%)	2.5	2.2	2.3	2.2	2.4	0.7	0.5	0.3

*平成22年=100

<資料>県統計調査課

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

5 月 = 132,694億円

*前 月 比: 同水準

*前年同月比: 2.6%増

(銀行、信用金庫)

<概 況>

5月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は132,694億円で、前月と同水準だった。前年同月比は2.6%増となった。

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
貸出残高(億円)	131,113	131,751	133,572	132,402	132,274	134,686	132,750	132,694
前 月 比 (%)	▲ 1.2	0.5	1.4	▲ 0.9	▲ 0.1	1.8	▲ 1.4	0.0
前年同月比 (%)	3.1	3.2	3.2	3.4	3.2	2.6	2.8	2.6

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

5 月 = 2.137%

*前 月 差: 同水準

*前年同月差: 0.044ポイント増

(県内地銀4行総平均)

<概 況>

5月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.137%で、前月と同水準だった。なお、前年同月差は0.044ポイントのプラスとなった。

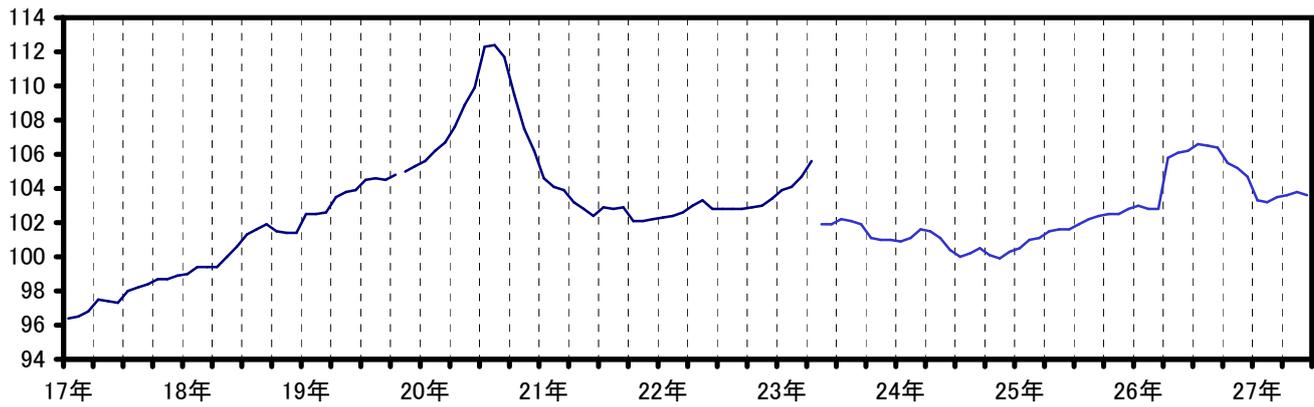
	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
貸出約定金利(%)	2.124	2.126	2.118	2.131	2.142	2.124	2.137	2.137
前月差(ポイント)	0.015	0.002	▲ 0.008	0.013	0.011	▲ 0.018	0.013	0.000
前年同月差(ポイント)	0.042	0.044	0.048	0.021	0.036	0.044	0.039	0.044

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

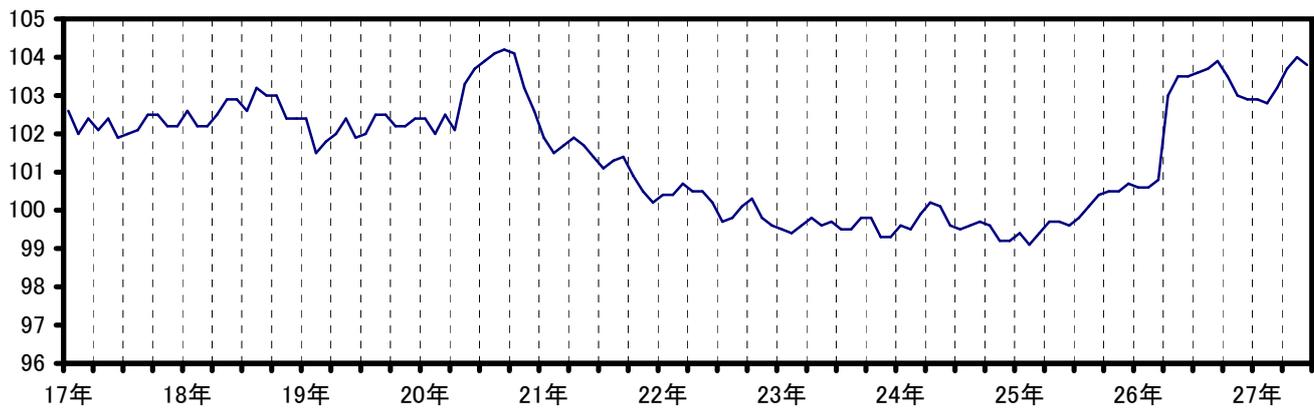
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



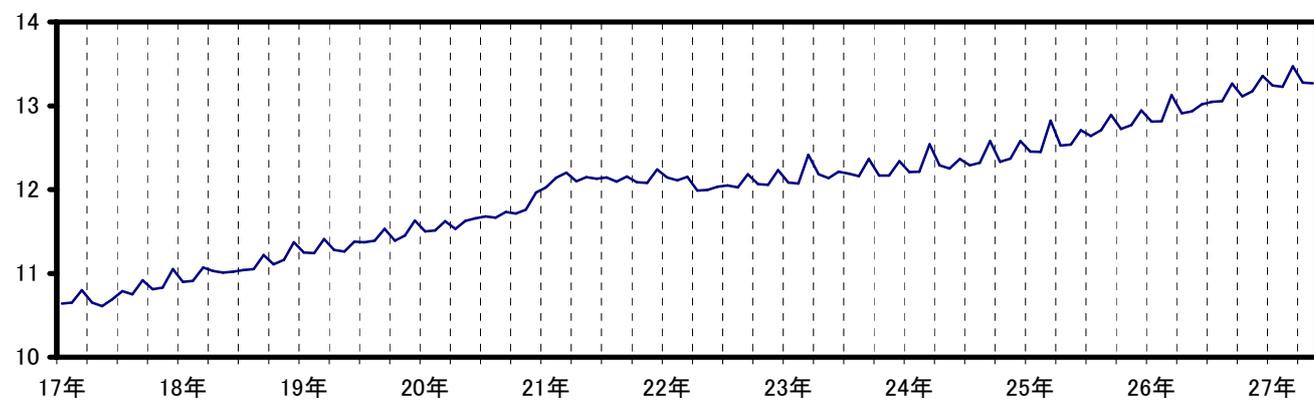
消費者物価指数(平成22年=100)

<資料>県統計調査課



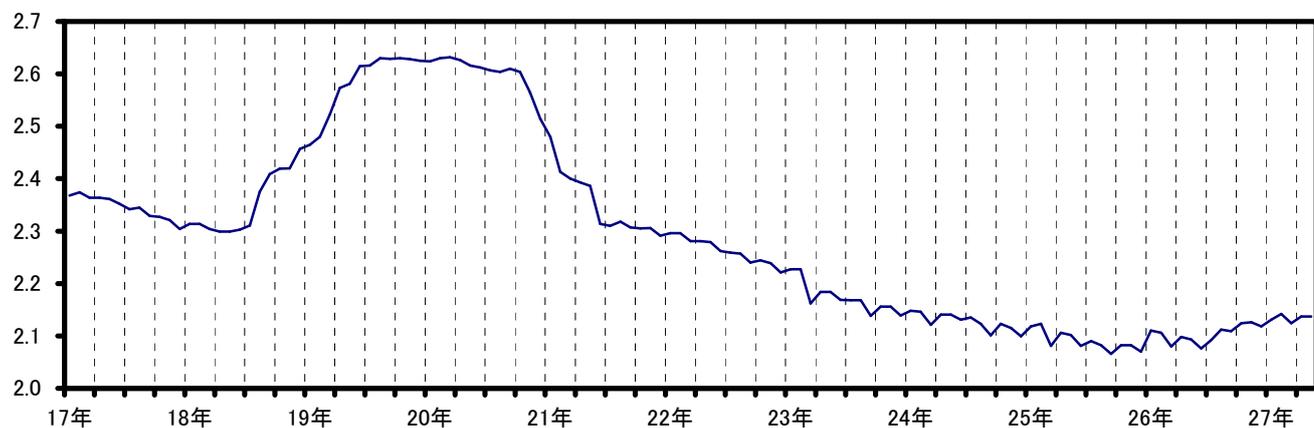
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**5月 = 17,308百万円**

*前年同月比： 22.6%減

<概況>

5月の保証承諾は、金額が17,308百万円（前年同月比 22.6%減）と31か月連続で前年実績を下回り、件数は1,956件（同 16.7%減）と2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
保証金額（百万円）	20,926	21,189	30,756	18,715	21,165	30,874	16,893	17,308
前年同月比（%）	▲ 11.9	▲ 18.6	▲ 8.7	▲ 2.7	▲ 2.4	▲ 7.6	▲ 1.3	▲ 22.6
保証件数（件）	2,206	2,165	3,173	1,941	2,340	3,215	1,857	1,956
前年同月比（%）	▲ 13.5	▲ 19.5	▲ 6.0	▲ 8.8	▲ 3.0	0.4	▲ 4.1	▲ 16.7

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**6月 = 123.75円/ドル**

*前月差： 3.01円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 21.70円安

<概況>

6月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は123.75円で、前月と比べて3.01円の円安となり、2か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
平均相場（円）	116.22	119.40	118.24	118.57	120.39	119.55	120.74	123.75
前月差（円）	8.16	3.18	▲ 1.16	0.33	1.82	▲ 0.84	1.19	3.01
前年同月差（円）	16.19	15.94	14.30	16.44	18.12	16.99	18.95	21.70

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****6月 = 21件**

*前年同月比： 32.2%減

<概況>

6月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は21件で前年実績を下回り、負債総額は8,601百万円で前年実績を上回った。

原因別にみると、既往のシワ寄せ、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が16件と全体の76.2%を占め、211か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

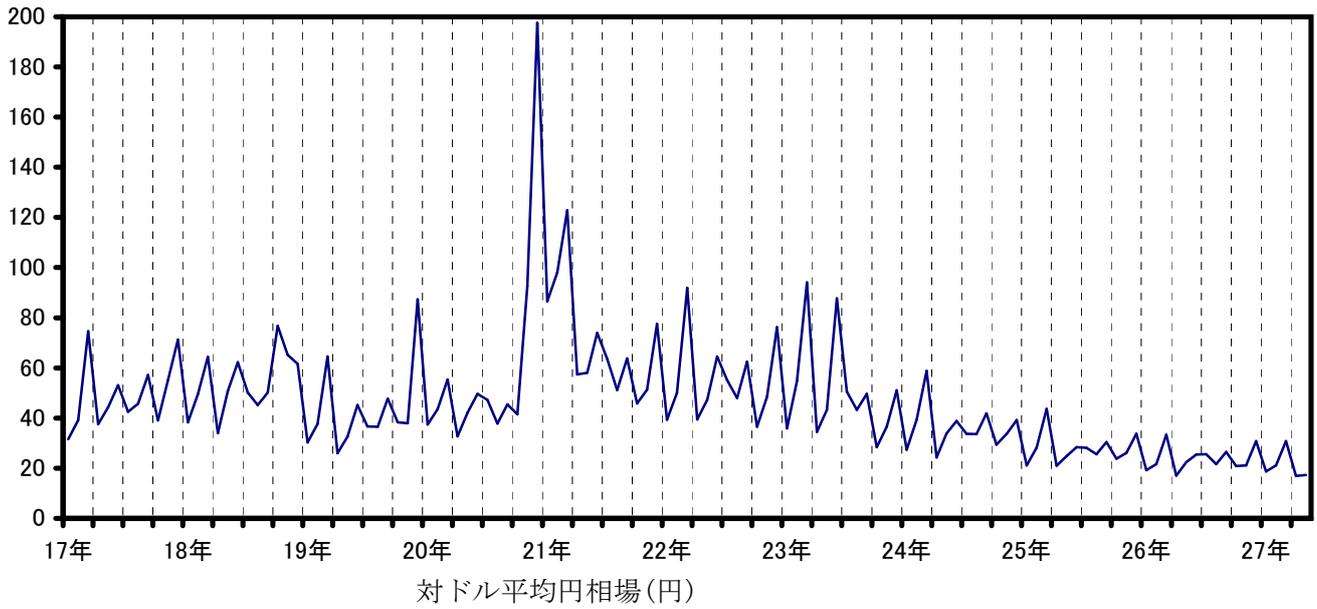
	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
倒産件数（件）	24	22	25	18	23	25	21	21
前年同月比（%）	▲ 29.4	▲ 26.6	8.6	▲ 30.7	▲ 14.8	8.6	10.5	▲ 32.2
うち不況型倒産件数（件）	24	17	20	13	21	20	13	16
負債総額（百万円）	2,935	3,941	6,396	1,965	2,983	4,007	2,878	8,601
前年同月比（%）	▲ 29.9	▲ 34.1	92.7	▲ 52.2	▲ 21.0	43.5	▲ 6.7	112.0

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

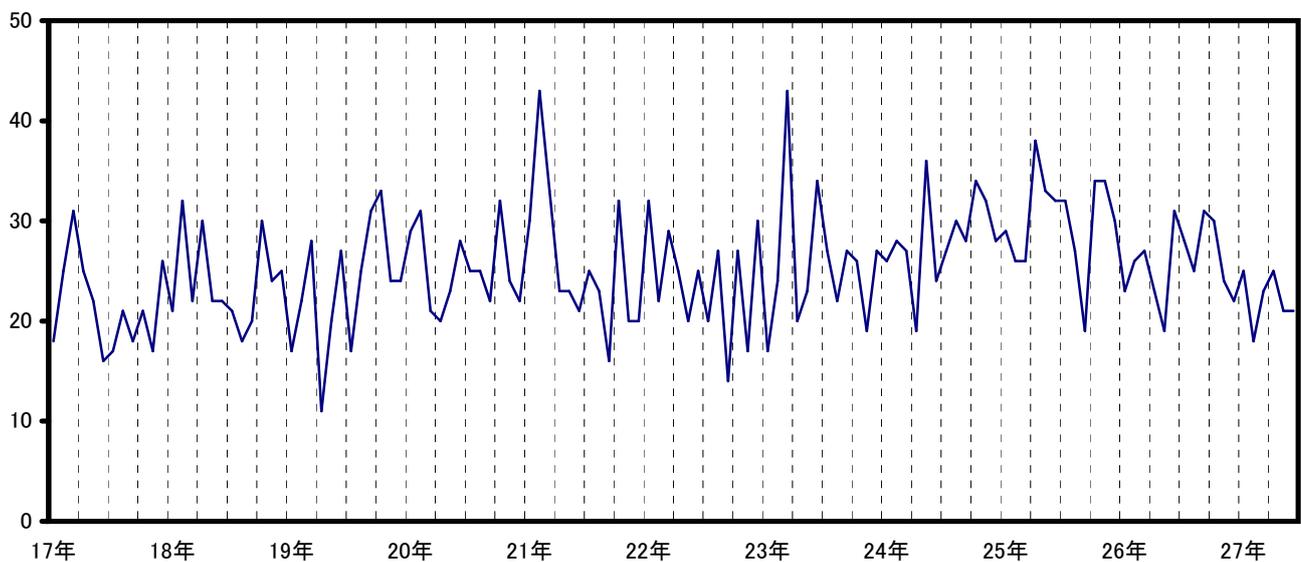
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成27年5月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>5月の国内二輪車生産台数は、31,958台（前年同月比21.9%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。車種別では、原付第二種（51～125cc以下）のみが3,375台（同75.1%増）と前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは28,993台（同11.2%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>一方、輸出向けは24,913台（同 1.0%増）で、6か月ぶりに前年実績を上回った。特に、車種別では原付第二種が3,272台（同54.6%増）、原付第一種（50cc以下）が720台（同43.1%増）と好調であり、地域別では、アジア向けが2,760台（同22.6%増）、ヨーロッパ向けが9,566台（同12.7%増）、アフリカ向けが2,596台（同97.0%増）と好調であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>5月の自動車国内生産台数は645,427台（前年同月比 16.6%減）となり、11か月連続で前年実績を下回った。また、輸出は289,477台（同 10.0%減）となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車、軽自動車とも前年実績を下回り、全体でも11か月連続で前年実績を下回っている。</p> <p>輸出は、北米向けが3か月連続で前年実績を上回ったものの、欧州向けが9か月連続で前年実績を下回ったことから、全体では3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>5月の冷蔵庫の国内出荷額は329億5,300万円（前年同月比 6.2%増）、また、国内出荷台数は293千台（同 3.6%増）で、ともに8か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>5月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは782千台（同 1.9%増）で、13か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は、59千台（同10.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>消費マインドの回復傾向と、5月は全国的に気温が高かったこともあり、冷蔵庫、エアコン等の季節製品は好調に推移した。</p> <p>4月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた移動電話の国内出荷台数は、冬春モデルの出荷が一段落したことで、1,009千台（同 7.2%減）と4か月ぶりに前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、402千台（同351.3%増）となり、また、単月のスマートフォン比率は39.8%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用 機械	<p>5月の工作機械の受注総額は、1,385億4,500万円（前年同月比15.0%増）と、20か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は857億500万円（同 2.3%増）、内需は528億4,000万円（同43.9%増）と、ともに前年実績を上回った。特に、外需は北米向けが230億3,500万円（同11.1%増）と好調であり、また、内需は電気・精密機械が48億3,400万円（同52.0%増）と好調であった。</p> <p>一方、県内中小企業からは、限られた仕事量しかないため、国内中小企業は単価が安くても受けざるを得ない状態にあり、仕事量を確保できて利益が伴っていないとの声も聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>5月の県内楽器メーカーの販売金額は、54億6,300万円（前年同月比 9.9%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが30億700万円（同 1.2%減）で、国内向けが24億5,600万円（同18.6%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,620台（同12.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,662台（同13.2%減）、グランドピアノが958台（同12.4%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,021台（同 0.5%増）、国内向けが1,050台（同20.0%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>5月の紙・板紙の国内出荷高は、1,953千ト（前年同月比 3.3%減）で、前月の増加から減少に転じ、前年実績を下回った。内訳は、紙は1,103千ト（同 3.4%減）で、14か月連続で前年実績を下回り、板紙は850千ト（同 3.1%減）で、前月の増加から減少に転じ、前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、604千ト（同 4.0%減）と14か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、141千ト（同 3.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会</p>
缶詰・飲料	<p>5月の県内生産量は、食缶類が国内向け886千箱（前年同月比 3.4%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は694千箱（同 3.0%増）と4か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は538千箱（同 3.7%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は192千箱（同21.0%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,820千箱（同15.6%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>5月の広幅織物の県内生産は、1,222千㎡（前年同月比 2.8%減）であった。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,175千㎡（同 0.9%減）であり、別珍・コールテンの生産は、47千㎡（同34.4%減）であった。</p> <p>小幅織物の県内生産は、40千㎡（同 6.3%増）であった。</p> <p>産地では、引き続き、生産量が減少傾向にある。このため、県内外そして海外へと各種展示会への出展による新規需要・販路開拓を図っている。5月は、都内で開催された「プレミアムテキスタイルジャパン」に県内の複数の企業が出展した。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>5月の全国百貨店での家具販売額は、55億9,000万円（前年同月比 6.8%増）で、また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、508億8,000万円（同 7.2%増）であった。</p> <p>昨年の消費税率引上げ後の買控えの反動や休日が増えたことなどもあり、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>こうした中、県内業界では、各種展示会を開催するなど、販路拡大に取り組んでいる。</p> <p>＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、静岡県地域産業課</p>
小 売 業	<p>5月の県内百貨店の売上高は、前年の消費税増税後の買い控えからの反動に加え、休日が2日増加した影響もあり、前年同月を2ヶ月連続で上回った。</p> <p>また、百貨店からは、化粧品や紳士服など好調な商品もあるが、主力である婦人服の売上げの回復が遅れているため、消費が回復傾向に未だ至っていないという声が聞かれた。</p> <p>5月の食品スーパーへの聞き取りでは、売上高は、前年同月並み、またはプラスとなった。中部と東部のある店舗では、青果の相場高や、メーカーによる値上げの影響で、客単価がプラスとなった。また、気温が高かったことにより、サラダ野菜や果物などの生鮮食品や、惣菜が好調となった。</p> <p>5月の県内商店街では、東部地域でパン屋を一斉に集めたイベント「パンマルシェ」が開催され、多くの客を集めた。中部地域では、参加店が独自の特典で客をもてなす1日限定のイベントが開催され、商店街をまたがる回遊を促した。また、西部地域では、手作り作家たちによる空き店舗を活用した雑貨市や、国の登録有形文化財の蔵の公開と、古い街並みの商店街イベントでにぎわった。</p> <p>＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>5月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約67万人で、前年同月比25.1%の減となった。昨年同時期に実施されていた「浜名湖花博2014」が閉幕したことにより、西部地域の入込客数の減少が見られたが、他の地域では順調に推移した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両は、約72万台と前年同月比5.9%の減となった。</p> <p>＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
完成車生産台数(台)	20,320	25,301	22,094	21,785	19,802	21,173	21,577	15,496	13,721
前年同月比(%)	12.3	29.0	9.6	18.2	12.4	2.7	6.4	17.1	▲5.0
KD輸出額(百万円)	1,265	1,018	1,151	1,194	1,127	1,010	1,030	1,020	937
前年同月比(%)	14.3	▲10.5	▲6.4	18.2	8.0	4.7	17.5	▲16.7	▲11.3

<楽 器>

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
生産総額(百万円)	3,852	3,846	3,429	3,467	3,384	3,419	3,662	3,946	3,720
前年同月比(%)	15.6	▲2.2	▲12.1	▲5.0	▲4.5	▲3.0	17.1	▲12.5	▲14.8

<缶詰>

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
食缶生産高(千ケース)	873	903	859	755	790	889	930	925	893
前年同月比(%)	▲7.6	▲0.9	▲7.1	▲6.1	▲3.8	15.5	▲4.8	▲3.7	▲2.8
うち水産缶詰(%)	▲6.8	5.8	▲2.2	▲5.9	0.9	12.8	2.7	1.9	3.7
農畜産缶詰(%)	▲10.3	▲18.9	▲20.9	▲6.6	▲15.7	23.1	▲24.1	▲19.4	▲21.0
飲料缶生産高(千ケース)	6,170	6,252	6,943	6,593	4,946	5,202	6,976	7,891	7,820
前年同月比(%)	▲27.5	▲22.1	▲15.5	▲10.2	▲14.3	▲26.9	▲18.6	▲9.6	▲15.6

<織 維>

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
広幅織物(千㎡)	1,299	1,430	1,580	1,535	1,443	1,508	1,519	1,519	1,222
前年同月比(%)	▲3.6	▲5.9	▲4.7	▲5.4	▲11.6	▲5.3	▲3.7	▲1.7	▲2.8
小幅織物(千㎡)	42	38	36	37	36	38	38	39	40
前年同月比(%)	▲11.7	▲19.4	▲23.5	▲21.1	▲3.7	6.3	▲1.7	10.4	6.3

<観 光>

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
観光施設(10施設)入込 (千人)	433	357	401	218	252	244	470	442	671
前年同月比(%)	▲1.0	▲5.2	▲2.4	▲16.3	▲11.5	30.4	27.5	▲31.9	▲25.1
有料道路(5路線)通行量 (千台)	679	649	696	674	623	606	762	650	717
前年同月比(%)	18.5	17.7	16.5	18.0	15.2	17.3	0.0	▲3.1	▲5.9

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・百貨店販売額	・産業用大口電力消費量	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・雇用保険受給者実人員	・消費者物価指数
・自動車新規登録台数	・鉱工業在庫指数	・完全失業率	・県内金融機関貸出残高
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・信用保証協会保証金額
・清水税関支所管内輸出額			・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
消費者物価	総務省統計局	http://www.stat.go.jp/
家計調査		
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成27年7月号 通巻471号

発行 静岡県経済産業部
平成27年7月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>